

災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画

桜島研究課題研究集会

日時:2018年12月27日(木)午後1時30分~6時

12月28日(金)午前8時40分~午後1時

会場:ホテルリブマックス鹿児島 <https://www.hotel-livemax.com/kagoshima/kagoshima/>

12分発表, 議論3分

開始時刻	終了時刻	タイトル	講演者	座長
12月27日	13:30	13:35 挨拶	井口正人	中道治久
	13:35	13:55 マグマ貫入速度による桜島火山における噴火事象分岐論理	井口正人	
	13:55	14:10 The performance of a FURUNO small X-band dual-polarization Doppler weather radar to monitor the rainfall in Sakurajima	Syarifuddin Magfira	
	14:10	14:25 精密水準測量による桜島火山の地盤上下変動(2017年11月~2018年11月)	山本圭吾	
	14:25	14:40 桜島火山の重力変動(2009年~2018年)を読み解く	西山竜一	
	14:40	14:55 鹿児島湾奥部における繰り返し海底地震観測 ー2014~2018年ー	八木原 寛	
	14:55	15:10 桜島火山南岳・昭和火口で発生する火砕流の特徴	為栗 健	
	15:10	15:25 空振記録から読み解くブルカノ式噴火と水蒸気噴火の違い 休憩	山田太志	
	15:40	15:55 桜島2015年火山活動の空振-地盤変動記録の関係検討	菅野 洋	山本圭吾
	15:55	16:10 桜島火山におけるマグマ活動発展過程の研究ー雑微動解析による構造変化ー	大見士朗	
	16:10	16:25 稠密観測によるアクロス震源からの波動伝搬の推定	前田裕太	
	16:25	16:40 桜島構造探査記録のデータ再検討	筒井智樹	
	16:40	16:55 Development of Sakurajima Muography Observatory for monitoring of volcanic activity in Minamidake and Showa craters	Olah Laszlo	
	16:55	17:10 岩石組織に基づく火道浅部プロセスの推定手法の開発	中村美千彦	
	17:10	17:25 火山灰の測色値による噴火様式判別と粒径依存性について	嶋野岳人	
	17:25	17:40 AD1780年以降の桜島火山における玄武岩質マグマの多様性と貫入時期	中川光弘	
	17:40	18:00 議論 5カ年のまとめと次の5カ年について 第一部		
	18:30	懇親会 会費5000円		
12月28日	8:40	8:55 桜島大正噴火の前駆地震と桜島地震について	中道治久	為栗 健
	8:55	9:10 地震観測データ解析にもとづく火山噴火活動評価	西村太志	
	9:10	9:25 2017年南岳爆発に前後する傾斜ひずみ変化	堀田耕平	
	9:25	9:40 2015年8月のマグマ貫入に伴う地殻変動の時系列解析	長山泰淳	
	9:40	9:55 2015年8月桜島火山ダイク貫入イベントにおける地震活動の解析	小池 碧	
	9:55	10:10 深層学習による桜島噴火予測	村田剛志	
	10:10	10:25 Experimental Ash Hazard Forecasting at Sakurajima Volcano, Japan	Poulidis Alex	
	10:25	10:40 How to use volcanic ash tracking model PUFF 休憩	田中 博	
	10:55	11:10 桜島における土石流発生ポテンシャルの変化に関する研究構想	藤田正治	味喜大介
	11:10	11:25 桜島大規模噴火を想定した降灰リスクの計量化の試み	多々納裕一	
	11:25	11:40 桜島ライダーによるエアロゾル通年観測結果	清水 厚	
	11:40	11:55 桜島における気象レーダー観測ーこれまでと次の5年の計画についてー	佐藤英一	
	11:55	12:10 レーダーで計測した噴煙量を元にした噴煙内部の電荷量推定に関する研究	大石 哲	
	12:10	12:25 気象レーダーによる定量的降灰量推定式 ー工学的手法と理学的手法の比較ー	真木雅之	
	12:25	12:40 乾いた火山灰雲の偏波レーダパラメータの特性	Kim Yura	
	12:40	13:00 議論 5カ年のまとめと次の5カ年について 第二部		